

【第2回ワークショップの整理】

小町大路全体(取組み案)

バイクがハンプに乗り上げた時はどうなるか	景観に配慮したハンプ色にしてほしい
スピードを出しすぎなければ安全である	ベンガラ色であれば問題ない
ハンプを設置したことによるデメリットはあるのか	ボラードに手をつけて転んでしまった人がいる
国交省の技術基準のハンプについては、事故等は起きていない	ボラードの高さや硬さ等は工夫する必要がある
ハンプ設置の際、ボラードは必ず設置するのか	家の入口にハンプがあっても大丈夫なのか
基本的に注意喚起のため設置は必要である	交差点中にハンプを設置するなどの対策が必要となる
ハンプはどのくらいの荷重までいけるか	クルマの出入りが無い場所への設置を検討している
バスも通行可能 ⇒小町大路の設置は可能	注意喚起の看板は出入り口以外にもあって良い(人目に付く場所に設置する)
ハンプを外してほしい時はどうするか	看板の数や内容の情報量、設置間隔には注意する必要がある
一度設置したものの撤去は難しいため、社会実験を行うなど丁寧にアプローチして設置箇所を検討する	注意喚起の看板により、運転者だけでなく歩行者にも、理解してもらい協力を促す

意見内容
取組み位置に関する事
取組みの影響に関する事
道路構造・規制・標識・路面表示に関する事
社会実験に関する事
学識経験者・市・警察のコメント

緊急避難場所の看板とセットで、注意喚起の看板は是非設置してほしい



路上にごみ置き場がなく、沿道の壁にネット等を引っ掛けているため、歩行しにくい

カーブミラーの設置

交差点に隅切りがない
隅切箇所に置石があるため、クルマが大回りしなければ曲がれない

カーブミラーを設置してほしい
基本的にカーブミラーは公道と公道の交差点にしか設置できない

ハンプの設置に賛成
ハンプと民有地とのすりつけは、排水との関係が課題

横断歩道の位置を右側に変更してほしい
横断歩道の設置理由等の経緯を確認する必要がある。

個人宅から保育園になった
保育園前の歩行者の出入りができない
一方通行だとよりスピードがでるのではないかと
一方通行化に賛成意見と反対意見がある

- 凡例
- 横断歩道
 - 神社仏閣
 - コインパーキング
 - コンビニエンスストア
 - 電柱
 - 相互通行困難箇所
 - 交差点(横断歩道あり)
 - 歩行者・自転車動線
 - タクシーの一般動線
 - ハンプ又は狭さく候補地
 - 看板の設置位置

小町大路全体(その他)

今小路通の社会実験で得た知見を小町大路でも活かした方がよい
効果を検証するために、やってみなければ分からないということなら、社会実験は積極的に行うのが良いと思う
横断歩道は安全・見通しの良い・滞留できる場所がある箇所に設置するのが基本
ブロック塀は災害時危険なのではないか

歩道にクルマがはみ出してくることに對する対策はないか
物理的な分離はボラードを設置すること
⇒逆にボラードで明確に区切られることによりクルマのスピードが出しやすくなる。
事故の原因を究明することも必要ではないか(電柱付近での事故が多い)
歩行者とクルマのすれ違い事故への対策として、路側帯を広げ、クルマができるだけ中央を走るようにする

緊急避難場所の看板とセットで、注意喚起の看板は是非設置してほしい